

スーパ―はやおきおとうさん

相原直

おとうさんは、スーパ―はやおきです。かぞくのなかでいちばんのはやおきです。

ぼくは、あさ、コロコロとかゴシゴシというおとでめがさめます。まだ、ねむたいときには、すこしうるさいなあ、とおもうこともあります。そして、ぼくがしたにおりと、ぼくのかおをみて、

「なおちゃん、おはよう。」

とおおきなこえでいってきます。ぼくも、

「おとうさん、おはよう。」

といいます。

ぼくはいえに、六がつにすずというかわいいいぬがやってきました。それから、おとうさんのスーパ―はやおきが始まりました。おとうさんは、すずのおせわがかりをしてくれています。おさんぽにいつて、こはんをたべさせます。そのあとで、すずのへやをコロコロ、ゴシゴシおとをたててそうじします。すずはことばはなさないけど、ピンクのしたをだして、

「ありがとう、おとうさん。」

といっているようにみえます。そのときのすずのかおがすこくかわいいです。

おとうさんのあさは、テレビのはやおくりマークをおした

みたいにおおいそがしです。それでも、なつやすみにはまいにちいつしよにラジオたいそうにいつてくれます。ラジオたいそうをしているおとうさんは、たいそうのせんせいみたいです。じょうずでかつこいいです。おとうさんは、そのあと、あさごはんをおいしそうにたべて、ぼくやおにおにいちゃんに、

「きょうもがんばろうね。」

とはなします。おかあさんのつくったおべんとうや、すいとうをもつて、

「いつも、ありがとう。」

といつて、しゅっぱつします。

ぼくは、はやおくりマークをおしたようなスーパ―はやおきおとうさんがぼくはいえのあさのげんきのもとだとおもいます。どんなにいそがしくても、いつもやさしくて、ニコニコしているおとうさんが、だいすきです。

ぼくも、おとうさんのように、はやおきをして、ニコニコして、かぞくにさわやかなあさをプレゼントできるようになりたいです。

おとうさん、いつも、あさのプレゼントをありがとう。おとうさん、いつてらっしゃい。ぼくも、いちにちがんばろうよ。